

2023年2月17日

日本銀行

中央銀行デジタル通貨に関する実証実験について

日本銀行は、2020年10月に公表した「中央銀行デジタル通貨に関する日本銀行の取り組み方針」に沿って、2021年4月より、中央銀行デジタル通貨（CBDC）に関する実証実験を進めています。

このうち、CBDCに関する基本的なアイデアが技術的に実現可能かどうかを確認するプロセスである「概念実証」は、当初予定のとおり本年3月に終了し、4月より「パイロット実験」を実施することとしましたので、お知らせします。

パイロット実験においては、中央システムから、仲介機関ネットワーク、仲介機関システム、エンドポイントデバイスまでを一体的に実装するものとして実験用システムを構築し、エンドツーエンドでの処理フローの確認や、外部システムとの接続に向けた課題・対応策の検討などを行ってまいります。なお、店舗や消費者が関与する実取引を行うことは現時点では想定していません。

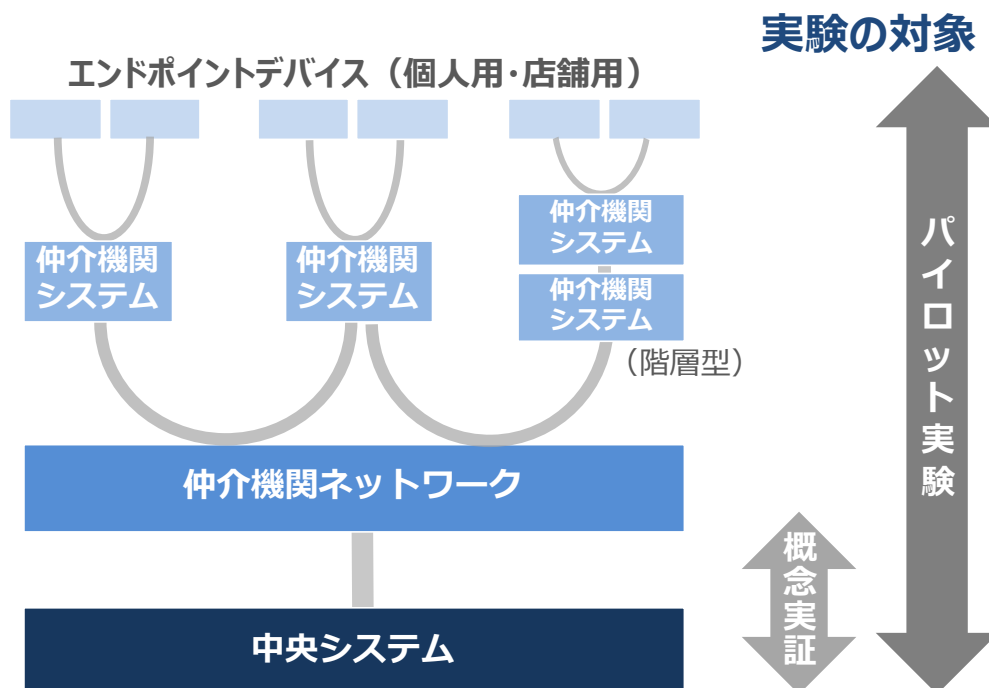
また、CBDCの制度設計を適切に進める観点から「CBDCフォーラム」を設置し、リテール決済に関わる民間事業者にご参加頂いた上で、幅広いテーマについて議論・検討を行ってまいります。CBDCフォーラム参加者の選定方法などについては、3月中に説明会を実施する予定です。

わが国でCBDCを導入するかどうかは、現時点では決まっておらず、今後の国民的な議論の中で決定されるべきものと考えています。日本銀行としては、こうした議論に資する観点からも、今後の様々な環境変化に的確に対応できるよう、しっかり準備を進める方針です。

以 上

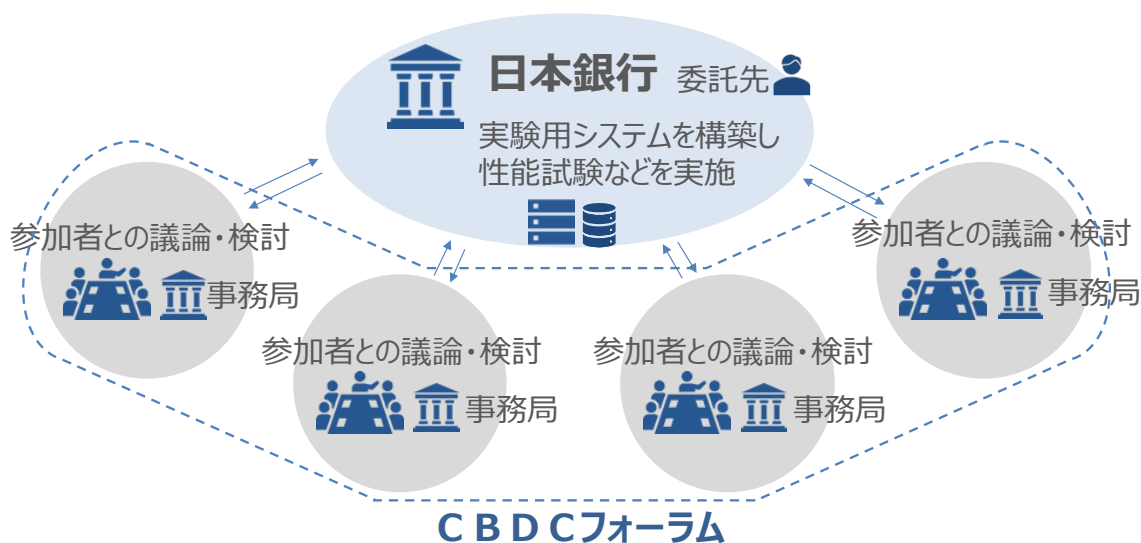
パイロット実験の概要

- 中央システムから、仲介機関ネットワーク、仲介機関システム、エンドポイントデバイスまでを一体的に実装するものとして実験用システムを構築し、エンドユーザーでの処理フローの確認や、外部システムとの接続に向けた課題・対応策の検討などを行う。



- CBDCの制度設計を適切に進める観点から「CBDCフォーラム」を設置し、リテール決済に関わる民間事業者にご参加頂いた上で、幅広いテーマについて議論・検討を行う。

—— 「実験用システムの構築・検証」や「民間事業者との議論・検討」における成果は、必要に応じてお互いの作業にフィードバックすることを想定。



- CBDCフォーラムでは、差し当たり、以下の項目を中心に、民間事業者との議論・検討を行う。

—— 議論の活性化や運営の円滑化の観点から、検討分野の関連性を踏まえて、ワーキンググループを設ける。

現時点で想定されるテーマ（今後の検討により変更の可能性）

- ・ エンドツーエンドでの処理フローを仲介機関の業務プロセスの観点からも確認するとともに、CBDCシステムと仲介機関の勘定系システム等との接続に向けた課題や対応策などについて検討。
- ・ 「アカウント型」以外の代替的なデータモデル（「トークン型」など）やオフライン決済の仕組みに関する情報収集を引き続き進めつつ、代替的なデータモデルの提案や「アカウント型」との比較検討を行う。
- ・ 公共財としてのCBDCに上乗せされる追加サービスの提供に関心がある民間事業者の参加を得て、「CBDCのビジネスとテクノロジー」という切り口から意見交換を行い、追加サービスを提供する上でのCBDCシステムのあり方を検討。
- ・ 例えばプライバシー保護やユニバーサルデザインなど、公共財としてのCBDCの提供にあたって主にユーザーとの接点において必要となり得る課題や技術・機能について、実現可能性を検証。

- 2023年度は、参加者や実験用システム構築等にかかる委託先を選定し、順次、参加者との議論・検討や実験用システムの開発を進めていく予定。実験の検証状況や参加者との議論・検討の内容については、適宜のタイミングで公表していく。

